



せいひ会だより

2017年(平成29年)
9月1日発行
<第209号>
社会福祉法人せいひ会
http://www.seihikai.jp/



長崎の伝統的な行事、精霊流し。
せいひ会の「ロゴ入りもやい船」をデイサービス利用者と一緒に作りました。爆竹の大きな音で魔除けをし、船が通る道を清めながら、『チャンコンチャンコン』の鐘と、『ドードーイ』の掛け声とともに丘の家を出発。風和の里、シニアヴィレッジと周りながら、御霊を極楽浄土に送り出しました。
(ちなみにドードーイの掛け声は「南無阿弥陀仏」がなまったものと言われているそうです)

8月の行事

- 01日 通報訓練(風和)
- 05日 納涼祭(風和)
- 07~31日 作品・写真展示会(風和)
- 10日 千日祭参加(GH)
- 11日 消防総合訓練(コミュニティーセンター元亀)
- 11日 夕涼み会(GH)
- 15日 精霊流し
- 18日 運営推進会議(GH)
- 28日 合同納涼夏祭り(寿限無・じゅげむ)

9月の行事予定

- 16日 敬老会(風和)
- 18日 寿限無合同敬老会(寿限無・じゅげむ)
- 21日 運営推進会議(寿限無)
- 22日 消防設備研修(風和)
- 未定 月見会(GH)



8月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます



八月

※利用者様ご希望により長岡様の写真掲載はございません。



今回は元亀の里：長岡妙高様にお話を伺いました

昭和13年、西海市西海町で6人兄弟の5番目として生まれる。子供の頃は、読書することや作文を書くことが好きな、控えめな性格の子供だったとのこと。学校から帰ってきても友達と遊ばず家の手伝いをしたり、農繁期には畑の手伝いをしていたそうだ。卒業後は真珠の養殖場で働き、その傍ら趣味の和裁も楽しんだ。21歳で結婚し、3人の子宝に恵まれる。48歳から62歳まではオランダ村で管理職の仕事をしていた。ハウステンボスでも同様の仕事をしていたそうだ。芸能人や、世界の『ミス・〇〇』に会えたり、11カ国の踊りを観覧することができてとても楽しかった、と話される。また、スタッフのコスチュームの代表にも選ばれ、雑誌に載ったことがあるとのこと。「今でも宝物として保管してます。」と話された。
平成28年6月、脳梗塞で倒れ佐世保の病院に入院するが、言語障害のリハビリを受け言葉を話せるよう

になった。現在は元亀の里に入所し、午前中は平行棒内歩行5往復や右腕のマッサージ、午後は自己訓練で体がこわばらないように関節を動かしたり、運動をしている。今では車椅子を自分で動かせるようになったこと、着替えが一人で行えるようになったことがとてもうれしいと喜ばれている。「リハビリの先生はとても熱心ですし、ほかの職員さんも良くしてくれる。老人会で『早く会いたい』『早く戻ってきて』と言われた」ととても嬉しそうに話されていた。また、「自宅に帰ったら料理を温めたり、自分でできることはしていき、通所も通ってリハビリを頑張りたい。今後は箸を使えるようになること、しっかり話せるようになることを目標として練習していきたい」とも話された。
目標をもち前向きに励まれる長岡様、これからも楽しく元気にお過ごしください。

Vitality Space

バイタリティー・スペース



通所：共同作品

初めての
お産を見守り
生まれし赤子
仏の顔せん
(風和) 作中和子



じゅげむ：高松恵美子



寿限無 松江恵美子



じゅげむ 大坪公子



じゅげむ：山本一枝

影法師
甚遠い
秋浦克敏

通所：秋浦克敏

親友の
魂を
わす
れな
か
ら
あま

通所：竹下晶子

伝統
大川千代子

風和：大川千代子

新人職員紹介



元亀の里
波頭 知美さん

初心にかえり、心機一転
張ります。よろしくお願
いします。

映画・時代劇

ビデオテープ
DVD

ご寄贈いただけないでしょうか？

新作・旧作問いません。

・映画鑑賞会を開催しております。ご協力
よろしくお願ひしますm(_)_m
(先日『幸福の黄色いハンカチ』を
上映したところ好評でした！)



納涼そうめん流し



寿限無の多目的ホールを会場とし、小規模多機能
じゅげむの利用者の方と合同でそうめん流しを行いま
した。色とりどりのそうめんを、お椀に山盛り入れる方
や、うまく取れずに悔しがる方も。「わー！きれ
かー！」「おいしか〜！」と、声を上げながら夏のひと
時を楽しまれました。

風和の里納涼祭



8/5、風和の里ふくろうホールで、納涼祭が開催
されました。かき氷やくじ引き、綿あめ等の出店を
前に、「どれにしようかな〜」と迷う方も。職員によ
る”よさこい”を見たり、みんなで一緒に炭坑節を
踊ったりして楽しみました。お祭りの締めは花火鑑
賞。ちょっと小さめの花火でしたが、みんなで「たま
や〜！」と、大きな声で盛り上げました。

シニアヴィレッジせいひ避難訓練



新入職員を対象として、施設内の避難経路および避
難場所の確認、避難誘導の方法や注意点を確認する
内容で訓練を行いました。参加した新入職員は、真剣
に取り組んでいる様子でした。利用者の命の安全を
第一に考え、火災等の災害時に迅速に避難できるよ
う、訓練を重ねていきたいと思ひます。

鳥加郷千日祭



8/10、グループホーム利用者の方が鳥加郷の千日
祭に参加してきました。地域の皆さんが歌うカラオケを
鑑賞したり、出店でフライドポテトや焼き鳥等、好きな
ものを食べて・飲んで楽しんでました。地域の方々
とも顔を合わせ、交流を深めることができました。

ずいずい
随・随

ずっころばし

せいひ会の職員が、思うがままをリレー方式で綴るコーナー。
今月は、小規模多機能じゅげむ・橋爪さんです。

今年の6月は空梅雨でした。その分、7月にまとめて降ったよ
うで福岡の朝倉や大分の日田などでの大きな水害を始め、全
国各地で雨の被害が相次ぎ、8月に入ると迷走台風5号が各
地を水浸しにして行きました。
ニュースや天気予報などでは、海水温の上昇が要因だとして
気候変動や異常気象を声高に叫んでいましたが、1966年生
まれの私にとって“今年は異常気象”という言葉は物心付いた頃
から毎年言われ続けていたもので、すっかり当たり前の、夏
の挨拶になっていました。
大昔から地球規模での気候変動はあったようで、今の砂漠が
何万年前は大草原だったとか、氷河期があったという事から
もそれがわかるはずですが。
しかし自分の生きてきた、たった50年の間にも、夏の暑さが

年々増してきている事は文字通り肌で感じてきました。
各家庭にクーラーが有り、各自動車に付いたエンジンとクー
ラーからの熱が遠慮なく全部大気中に放出されているのです
から、それらが無かった昔より夏が暑くなるのも当然でしょう。
8月、寿限無では夏の風物詩の代表として、川のせせらぎの
音とカナカナと啼くヒグラシの声のBGM とともにそうめんを
流し、利用者の皆様に一時の涼を感じて頂いたのですが、こ
の先の夏もずっと、そうめん流しで涼を感じられるくらいの暑さ
で納まってくれるのでしょうか…？

夜には虫が啼き、風のどこかに涼しさが紛れ込んで、今年の
夏も終わりに近づいたようです。